

①
ほうりんこども園 理事長 先生 へ

この度は、長男の卒園 ならびに長女の転園に
際し、ほうりんグループに対して、ひと言では伝えきれない
感謝の思いがありましたので、筆を執りました。

思い起こせば6年前、息子が生後8か月の時に
高岡町に引越してきた事がきっかけで、ほうりんグループ
の活動を知りました。初めに高岡ほうりん保育園で
開催されたパホパフに参加させて頂き、まず赤井先生と
出会えたことが何よりのご縁だと感じました。

落ち着きのある雰囲気とぬくもりを感じる園舎で、
赤井先生が穏やかな口調と暖かい眼差しでお話
して下さり、1人目の育児で不安や孤独感があった私の
心がすっとほぐれたのを昨日の事のように覚えています。

次に園長先生からわらべ歌の「ちよつちよつあわわ」
を意味とともに教えて頂いた事にも印象的で、

そこから子どもとじっくり向き合う姿勢を学びました。
そして帰り際にサラダの国を紹介して頂いたので、
遊びに行ってみると、人見知りが強く私の側に
ひたりとくっついて離れなかった息子が、木製の車の
玩具を手に取り、膝から離れて遊び始めた姿に
驚きと喜びを感じ、心と手が動かされる良質な
ヨーロッパの木製玩具への興味関心が一気に湧き
ました。その時にとりの菓工房を紹介して頂き
ましたので、それから事あるごとにお店に通い、少しずつ
家の中にも良質な知育玩具が増えていきました。
さらにとりの菓工房の店主の川北さんがインストラクター
をされているアドラー心理学を基にした「楽育ママ講座」
を受講し、子育ての工夫を学び、今後自分が
子どもとどのように関わっていきたいか、育児の目標、

方向性が明確になっていきました。第二子である長女を出産後は、息子の赤ちゃん返りも出ていてワンオペ育児の困難さを抱いていたので、サラダの園に通う頻度が多くなり、神崎先生や吉川先生、藤原先生、鼻戸先生、吉田さんと話しかけたこと、集りタイムやイベントに多数参加した事で、育児ストレスが軽減され、母子ともに楽しいだけでなく穏やかな時も過す事ができたように感じます。そして幸運なタイミングで「ほうりん保育園が認定こども園として入園枠を広げて下さった事で、息子を安心できる保育環境に預ける事ができ、さらに娘を一時預かりして頂いたお陰で、さらなる親子関係の学びとしてアドラー心理学のページを受講する事もできました。

息子が園に慣れるまでの10か月間は母としては
 本当に気がかりで、息子とともに涙する日もありましたが、
 担任の先生だけでなく園のスタッフの一人一人が
 いつもいつも優しい眼差しと言葉で見守って下さり、
 まさに一人一人の成長を大切にされた保育、言葉を
 手渡す保育をして下さったと感じています。

お陰様で息子は好きな事を見つけ、やりたい事に
 集中できる力と思いやりと自信を持った子に
 成長してくれました。布おむつで丁寧におむつ替え
 をして頂いたからこそおむつはずれもスムーズで早かったですし、
 わらべ歌や厳選された絵本、良質な
 知育玩具に触れたからこそ、想像力が育ち
 ました。そして何より、異年齢クラスだったから
 こそ下の子を思いやり、上の子をみて沢山の

やる気をもらえて、2人ともあやとりが得意になり、兄妹で楽しみを共有しながら登園できました。その他にも、森のマルシェでは、身近で気軽に自然体験ができ、五感で感じる大切さを親子で体験できました。

少食なせいか小柄な息子でしたが、園での給食を通じて食べれる食材や味が増え、家でも野菜や新しい味付けの料理も食べてみようと呼びかけてくれるようになり、本当に有り難かったです。娘の方は、おやつに好き嫌いが多く、特に蒸しパンが苦手でしたが、3月17日にでたさくら色蒸しパンが一口食べてみたら美味しくて全部食べたと、娘自身が喜んでいて、それを担任の先生

も一緒に喜んでくれて、私も嬉しかったです。

親としてまだ"まだ"未熟者ですが、乳幼児期の大切な時期に、ほうりんグループとご縁があった事で、子どもたちも私もたくさんの学びと成長がありました。こちらで~~過~~ごさせて頂いた時間は私たち親子のかけがえのない財産です。

未筆ながら、お世話になった皆様
に心よりお礼を申し上げますとともに、
心急くままに乱筆乱文のほど、お許し
下さい。長文お読み下さりありがとう
ございました。感謝の気持ちでいっぱい
です。

2020年3月25日

卒園児 母